

平成29年度

学校自己評価報告書

平成30年 3月22日

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

自己点検・評価委員会

はじめに・・・評価基準、方法、根拠等について

本校では、学則第4条及び自己点検・評価規程に拠り、また、PDCAサイクルの構築も意図して学校評価を実施している。今年度の中間評価報告書（9月28日）をふまえ、学則等の基準、今年度の学校及び各学科の方針、運営計画に基づいた教育活動や学校運営に対し、平成29年度の取組について総合的に評価した。

根拠として、要項（年度初め提示）に基づき実施した各評価（各部署、授業、人事考課）関係資料、研修規程に拠る研究授業及び教職員研修会関連資料、定例の各会議（科内会議、科長会議、職員会議、運営委員会等）の議事録、日誌、学生指導の報告書、復命書等がある。なお、評価段階については5段階としている。

評価結果にある改善策及び3月26日開催の学校関係者評価委員会と教育課程編成委員会等をふまえ、次年度の学校運営にあたっていきたい。

評価項目を以下の10項目として、また、評価段階を各種評価と同様の5段階（5：大変良い 4：良い 3：ふつう 2：あまり良くない 1：良くない）としている。

1 教育理念・教育目標

	評価項目	評価
①	教育理念・目標が設定されている	5
②	人材育成像・指導方針が設定されている	4
③	①②を明文化している	5
④	①②について、周知徹底されている	3
⑤	①②について、実践し教育に現れている	3

[状況・課題]

- ・①②③について、学生便覧及び学校案内、掲示板や教室に、建学の精神、求める学生像、教育方針等を掲載、掲示している。
- ・④⑤に関連して、各科の目標にも揚げ努力しているが、さらなる改善を要する。
- ・学校全体の校風、教育環境として引き続き醸成を図っていく必要がある。

[改善策]

- ・学校全体の取組として表れるよう、改めて各校務分掌の役割や方針、行動計画等を明確にし実践していく。
- ・PDCAに基づく評価活動の意義の再認識と適正化を図り、具体的な改善につながるよう努める。

2 学校運営

	評価項目	評価
①	学校運営方針及び各種規定が明確に定められているか	4
②	学校運営の事業計画が定められ、計画に沿って運営されているか	4
③	学校の運営組織や意思決定機能は効率的なものであるか	3
④	人事や処遇に関する制度が適切に整備され、運用されているか	3
⑤	業務の効率化、経営の視点による取組が行われているか	3

[状況・課題]

- ・学則や内規等を整備及び明示し、それにより学校運営に当たっている。
- ・学校運営の計画的な取組やそれを意識した業務の遂行について、個別の改善が引き続き必要である。
- ・学校を存続させる上で、改組改編の実施や処遇等のさらなる見直しが必要である。
- ・個々の業務について、改めてPDCAを意識した改善に努める必要がある。

[改善策]

- ・学生募集状況等から、次年度以降の具体的な改組や改編を提案、準備し、処遇等の見直しを実施する。
- ・科長会議、職員会議等での確認、決定事項の履行及び各科、各部署の運営について、支障や遺漏がないよう、また、学生の不利益にならないよう留意し、所属長やチーフを中心に適確な業務の遂行に当たる。

3 教育活動

	評価項目	評価
①	カリキュラムは体系的かつ適正に編成されているか	4
②	人材ニーズ等に合わせ、カリキュラムの見直しが行われているか	4
③	成績評価・単位認定の基準は明確に設けられているか	4
④	授業計画が明文化され、それにもとづく教育を実施しているか	4
⑤	授業評価の実施、評価体制が整っているか	3
⑥	教員の資質、指導能力向上に対する方策を採っているか	3
⑦	資格取得の指導体制はあるか	4

[状況・課題]

- ・授業評価の実施体制について、精度向上の具体的な取組を要する。
- ・教科指導関連の研修等、継続して内容の充実を図っていく必要がある。
- ・資格取得について指導体制の充実を図っているが、特に介護福祉士国家試験の全員の合格を目標とした取組について、改めて検討する必要がある。

[改善策]

- ・授業評価について、授業形態別の項目や実施方法等、具体的な改善策を検討し体制を整え、次年度実施する。
- ・各部署、各専門領域の研修について、個人レベルでの取組を奨励する。 <継続>
- ・介護福祉士国家試験対策について、実施方法等を明確にし、学科と各教科担当との連携のもと実施する。

4 学修成果

	評価項目	評価
①	就職率の向上が図られているか	4
②	資格取得率の向上が図られているか	3
③	退学率の低減が図られているか	3
④	卒業生の社会的な活動状況や評価を把握しているか	3

[状況・課題]

- ・全体として就職率100%を達成する見込みである。
- ・初めての介護福祉士国家試験が実施され、全員の合格に向け取り組んだ。
- ・複数の退学者と入学辞退があった。
- ・前年度の卒業生の就職先を訪問し、活動状況の把握を行った。

[改善策]

- ・学生指導係による計画（期間、方法等）をもとに、学生の状況の把握に努め、情報を共有し、学習継続に係る意識づけを図る。
- ・入学前の対応及び指導（入学や学習の意欲づけ等）について検討、実施し、入学辞退や退学防止につなげる。
- ・施設訪問について、卒業生全般に対象を広げ、各科ごとに年間を通して実施する。

5 学生支援

	評価項目	評価
①	進路指導に関する体制が整備され、機能しているか	4
②	学生相談に係る体制があり、機能しているか	4
③	学生の経済的側面を支援する体制が整備され、機能しているか	4
④	保護者と適切に連携しているか	4
⑤	卒業生への支援体制はあるか	4

[状況・課題]

- ・進路指導について、学生個々の意思を尊重しながら、個別の対応を実施している。
- ・進路相談会を開催し、指導上効果的であった。次年度の実施については検討を要する。

- ・学生相談について学科ごとに適宜実施している。
- ・奨学金制度関連手続きや延納等、支援体制に基づく丁寧な対応を行っている。
- ・保護者への連絡、面談を適宜実施し、保護者の理解、協力を得るよう努めている。
- ・卒業生への支援体制について、接触機会を有効に活用するよう努めている。

[改善策]

- ・卒業生支援について、卒業時等に連絡調整役の選出や連絡網の整備を行い、同窓会の活用を促す。
- ・来校者の対応記録を全体として継続し、支援に活用する。

6 教育環境

	評価項目	評価
①	施設・設備は、教育上、充分に対応できるよう整備されているか	3
②	実習やインターンシップについて、十分な教育体制が整っているか	4
③	防災に対する体制は整備されているか	4

[状況・課題]

- ・施設や設備の一部について、老朽化に伴う修繕等を実施したが不十分である。
- ・校舎周辺の美化管理に配慮を要する。
- ・実習やインターンシップについて、教育体制は整っており教育に活かされている。
- ・地震災害を想定した訓練を実施した。

[改善策]

- ・経費や優先順位を考慮し、施設や設備、教育機器の充実を図っていく。 <継続>
- ・担当職員を中心に教職員全員で美化、整備に取り組めるよう計画する。 <継続>

7 学生の受け入れ募集

	評価項目	評価
①	学生募集活動は、適正に行われているか	4
②	教育成果の情報提供は、適正に行われているか	4
③	入学選考は、適正かつ公平な基準により行われているか	4
④	学納金は、妥当なものとなっているか	5

[状況・課題]

- ・募集活動や入試選考は適正に実施している。

[改善策]

- ・各広報資料やホームページ等による情報提供を計画的に実施する。

- ・教育活動の状況だけでなく、授業評価等の教育成果に係る情報提供の方法について検討し、情報提供していく。

8 財務

	評価項目	評価
①	学校の財務基盤は安定していると言えるか	3
②	予算、収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	3
③	財務について、会計監査が適正に行われているか	4
④	財務情報公開の体制整備はできているか	4

[状況・課題]

- ・厳しい学生募集状況となり、今後の財務基盤の安定化を図る上で大きく影響している。
- ・新規を含め、収益事業の導入を進めている。
- ・支出削減について実施しているが、学校運営上の必要経費の確保等、厳しい状況が続いている。

[改善策]

- ・特に次年度前半の学生募集に係る事項を全学的な取組とし、優先的に実施する。
- ・学校改組及び学科改編を確実に進め、財務の安定につなげる。

9 法令等の遵守

	評価項目	評価
①	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
③	自己点検・評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
④	自己点検・評価の結果を公表しているか	4

[状況・課題]

- ・普段より法令遵守に努め、適正に学校運営にあたっている。
- ・個人情報について、特に管理上の取扱いに配慮している。
- ・自己点検・評価について、基本的に個人及び各部署による自己評価であり、PDCAによる評価活動に対する意識や取組に個人差が見られる。

[改善策]

- ・個人情報を含む、諸表簿の整理、処分を含めた管理体制を維持する。 <継続>
- ・PDCAサイクルによる評価活動の意義について個人レベルで理解し、実施方法等を見直して精度を上げ、具体的な改善につなげる。

10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
①	学校の教育資源を有効活用した社会貢献を行っているか	4
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
③	地域や関係団体との連携や交流を通して、地域活動に参加しているか	3

[状況・課題]

- ・社会貢献を意識した教育資源の活用について、改善を要する。
- ・ボランティア活動について、さらに積極的な取組を要する。
- ・学校周辺地域との交流、参加は不十分である。

[改善策]

- ・本校の認知度を高めることもふまえ、工夫して広報活動を展開する。 <継続>
- ・清掃活動等の地域貢献に係る事項について、学校行事として関係部署を中心に具体的に検討、計画立案し実施する。

以 上